



一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月の中核市移行を目指しています。中核市に関するいろいろな情報を紹介します。

【問】中核市移行推進課 ☎(85)7003

## 第8回 よくある質問



中核市になると、市の仕事が増えるらしいけど…

市の職員は増えるの？

新しい仕事に必要な職員数として、85人の増員を予定しています。特に保健所設置のため、現在の県一宮保健所と同規模の人員が必要と考えています。職員の配置に当たっては、増員だけではなく、組織再編による効率化や、職員の能力向上も図ります。

市の財政は大丈夫？

新しい仕事を行うために毎年かかる費用は、国からの地方交付税の増額によって賄えると見込んでいますが、支出が大幅に増えることのないよう、財政状況を考えながら事務の実施方法を調整していきます。

税金が上がるの？

中核市移行により、税金や公共料金が上がることはありません。



詳しくは、中核市移行基本計画 (ID1031923)をご確認ください。

## 地域づくり協議会 活動だより 59

### ～木曾川町連区編～

木曾川町連区地域づくり協議会は、発足から6年が経過しました。現在、市の交付金を活用した提案事業に取り組んでいます。

「安全で安心なまちづくり事業」では、非常時の災害に備え、町内の4小中学校に防災倉庫を設置しました。

「思いやりのあるまちづくり事業」では、町内の社会資源を機能・役割で類型化して紹介した「きそがわつながりマップ」を作成し、全戸に配布しました。また役割分担をして実際に「声かけ」を行う「認知症徘徊模擬訓練」も実施し、参加者にとって貴重な体験の機会になりました。この市内初めての試みはI.C.Cで放映されました。

「地域の歴史・文化を次世代に継承する事業」では、木曾川町の歴史・文化・名所旧跡をまと

めた冊子「ふるさと今昔」を全戸に配布しました。

また昨年度から新企画として、里小牧の木曾川緑地公園で「雀のお宿 野外音楽祭」を開催しています。爽やかな秋晴れの下、中野市長をはじめ約750人の来場者があり、世代を超えた「ふれあいと絆」を深める場となりました。

今後も町会長協議会や関係諸団体との連携を図りながら「安全・安心で思いやりあふれる町づくり」を目指した活動を推進していきます。



◀「雀のお宿 野外音楽祭」の様子

【問】市民協働課 ☎(28)8954